



2015年 年次報告書

国際環境NGOグリーンピースの 取り組み

www.greenpeace.org/japan



## GREENPEACE



皆様からのあたたかいご支援とご協力のおかげで、2015年もグリーンピース・ジャパンは地球規模で起こる重大な環境問題に取り組むことができました。

原発の再稼働を止めるための活動、ネオニコチノイド系農薬を規制する法律を求める活動、大手スーパーマーケットに魚介類の持続可能な調達方針を求める活動に、多くの方がご参加下さいました。おかげさまで原発の再稼働も遅れ、ネオニコ系農薬に反対する世論も高まり、大手



© Jeff Tan / Greenpeace

スーパーの西友が絶滅危惧種のアメリカウナギの取り扱いを中止するなど、着実に活動の成果が見えてきました。スタッフ一同、心より感謝申し上げます。

特に今年は、グリーンピースのキャンペーン船「虹の戦士号」が10年ぶりに海側を訪れました。スタッフや世界18ヵ国から来た乗組員は地元の方々とで表に発しまった。沖縄の方々からの「勇気に発しまった」といった温かい言葉にくれて戦力がとう」と答えていました。"虹の戦士"とは特別な誰かではなく、命を人のことをあらためて感じました。であることをあらためて感じました。

2016年は東京電力福島第一原発事故から5年、チェルノブイリ事故から30年となる節目の年です。福島原発事故によって被害を受けた方々の人生が3.11で大きく

変化したにもかかわらず、政府は、あた かも原発事故が収束したかのように再稼 働を急いでいます。

しかし、明るい兆しはあります。2016年4月から家庭でも電気が選べるようになる「電力自由化」が開始されます。グリーンピースは、福島県での放射線調査の拡充と国際的な脱原発の世論作りを継続して進めるとともに、各家庭での「脱原発」「脱化石燃料」「自然エネルギーの促進」を目指した電力会社の乗り換えを促進する活動を行っていきます。

2016年もグリーンピース・ジャパンの活動へのご参加・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

グリーンピース・ジャパン事務局長 佐藤潤一

表紙写真(上)那覇港へ入港する「虹の戦士号」 (下)辺野古・大浦湾サンゴ破壊の現場を撮影



# Save the Dugongs

## 虹の戦士号沖縄へ 辺野古の命の海とジュゴンを守る

沖縄県名護市にある辺野古・大浦湾の自然と平和を 守るため、19年間闘い続ける人々がいます。グリーン ピースは日米両政府に対し、新基地建設を中止して辺 野古・大浦湾を海洋保護区として未来に残すことを求 めます。

#### 虹の戦士号、10年ぶりに沖縄へ

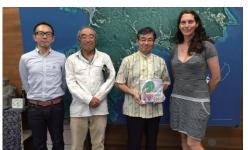
グリーンピースは11月に虹の戦士号を沖縄に派遣。 環境破壊の現場を世界に発信し、新基地建設に反対 する沖縄の人々と交流しました。先立つ10月、辺野古・

大浦湾の海洋調査を行い、サンゴ礁やジュゴンの海草の食

み跡など貴重な生態系が残 る海を映像に収めました。温 暖化により世界でサンゴ礁 が減少する中、ジュゴンを含 む262種の絶滅危惧種を育 む「命の海」の様子は、国内 外から多くの反響をえました。



© Masava Noda / Greenpeace



稲嶺市長(右から 2番目)との面会

ヘリ基地反対協議 会共同代表安次富 浩さん(左から2 番目)とともに

#### ジュゴンを守りたいという世界中の声を一つに

ジュゴンの数少ない餌場である辺野古・大浦湾の環境と 生態系を守るため、国際署名を2月に実施。集まった53,260 筆をキャロライン・ケネディ駐日米国大使に提出し、新基地建 設計画の撤回を訴えました。10月には新基地に反対する 人々に賛同する国際署名を実施し、合計18,435筆を翁長



キャンプ・シュワブの対岸、名護市瀬嵩の浜で子ども達とアピール行動 © Masaya Noda / Greenneace

沖縄県知事に届けました。また名護市の稲嶺進市長の虹の 戦士号乗船が実現しました。



#### ひとりでも多く辺野古へ、NGOネットワーク設立

辺野古では沖縄・全国各地から集まった人々が昼夜を問 わず抗議を続けています。グリーンピースは2月から6月まで、 現地での活動を希望する方に沖縄への交通費半額を支援 しました。支援は全国から集まり、19人が辺野古の座り込み に参加しました。スタッフ9人も辺野古を訪れ、撮影や情報発 信を行いました。3月には「辺野古・高江を守ろう! NGOネット

ワーク」の構成団 体となり、院内集 会開催、政府要 請、リーフレット発 行を行いました。



写真提供:沖縄タイムス

#### ■ 主な発行物 / 報告書

動画:「辺野古・大浦湾を海洋保護区に」





「辺野古の埋め立て4つの誤り」 (辺野古・高江を守ろう! NGO ネットワーク発行)

#### 「沖縄・辺野古:不屈のストーリー」

グリーンピースは、世界的に有名 な英国人写真家イアン・テーに依 頼し、ジュゴンを守るため、そし て次世代のために海を守ること を決意した勇気ある現地の方々 9人のストーリーを取材・撮影し ました。[Vice][Big Issue]などの メディアでとりあげられました。



© Ian Teh / Greenpeace

# Climate & Energy

エネレボ始動! 日本の未来を照らすのは自然エネル そう信じて行動します

「原発はいらない」「自然エネルギーが欲しい」 そんな声が日本で、世界で広がっています。 グリーンピースは、調査活動、結果の公表、政府や 企業との交渉を通じて、日本のエネルギーの未来を 変える活動を続けています。

#### 電気の「成分」? 情報開示の重要性

2016年4月からの家庭向け電力自由化を前に、グ リーンピースは電力会社による情報開示を重要視す る活動を開始。すでに電源構成の表示が行われている ヨーロッパの事例を参考に勉強会を催したり、情報開示 を求める消費者の署名活動も実施。3週間で1万筆を超え る賛同が寄せられました。電源構成の情報開示を促す政 府方針が出るなど今後につながる一歩を踏み出すことが できました。



#### 福島県飯館村、除染後の放射線調査

7月に実施した福島 放射線調査には海外の メディアが同行。今も 続く放射能汚染の問題 を世界に大きく伝える ことができました。大 量に積まれた除染廃棄



© Jeremy Sutton-Hibbert / Greenneace



© Jeremy Sutton-Hibbert / Greenpeace

物の黒袋の山を空撮。福島の方のコメントと共に「再稼働 より償いを と訴える動画を配信し、国内で55万回以上再



生されました。また、 調査報告会には政府委 昌会に参加する研究者 も参加し、内閣府との 意見交換の場を持つこ ともできました。

#### 福島を自然エネルギー100%のモデル県にしたい

福島県における太陽光エネルギー普及をめざすプロジェ クト「ソラライズふくしま」が始動。10月23日から11月 24日まで、三春町のコミュニティショップ「えすぺり」に 太陽光パネルを設置するクラウドファンディングを実施し ました。1か月間で253人の方から1,480,267円が集ま

り、目標を123% 達成。市民太陽 光発電所の立ち 上げが実現しま した。



#### ■ 主な発行物 / 報告書



- ・「川内原発と火山灰のリスク」
- ·「IAEA福島第一原子力発電所事故報告書 (概要)に対する予備的な分析」
- ・「消費者のための『電源のラベル表示 |を |



動画「再稼働より償いを ~東京電力·福島原発事故 放射線モニタリングより~」



2050年までに 自然エネルギー100%の日本へ

高田久代(エネルギープロジェクトリーダー)

脱原発と自然エネルギー100%の日本を目指し、ドイツ、ベルギー、 スイス、フランスの各グリーンピース事務所と協力し、3年間の国際 プロジェクト「エネレボ」を日本事務所が牽引中。2015年後半から 本格始動し、グリーンピースならではの力強いキャンペーンを展開 していきます。



## **Oceans**

## 海にも人にも優しい漁業を目指して 求められるサステナブル・シーフード

「好きなものをいつでも安く|手にできる、スーパーな どの薄利多売型ビジネスには、マグロやウナギの資源 減少に代表される海洋生態系への負荷だけでなく、強 制労働や違法漁業などの目を覆いたくなる実態が隠 されています。

#### 資源回復のチャンスを無駄にしない。 「産卵期 | のマグロを守る

2014年に絶滅危惧種に指定された太平洋クロマグ 口。産卵場所は日本海と南西諸島沖ですが、初夏に産 卵のために帰ってきたマグロを守る規制はありません。

グリーンピースは5月 にスーパーなど計20 社を対象に産卵期マグ 口の取扱状況の調査 を実施。資源管理に無 責任な企業の実態が 判明したため、「マグロ の赤ちゃんを守って! Save my Baby 1 + + ンペーンを開始。



産卵期に獲られた太平洋クロマグロ © Greenneace

### 絶滅危惧種が安売りされる現実。 スーパーの意識改革を!

12月に国内大手スーパーマーケット5社を対象に調査を 実施し、取扱う魚介類の持続可能性を評価する「お魚スー パーマーケットランキング5 を翌月発表。絶滅危惧種の取



扱いや、違法漁業や 強制労働をサプラ イチェーンから排 除する取組みなど、 調達方針が実際に 機能しているかを



精査しました。ランキング2位の西友が絶滅危惧種アメリカ ウナギの取扱い中止を決定しました。

#### 世界と地域で連携し、豊かな海を未来に残したい

夏にグローバルチームが違法漁業を摘発するシップツ アーを太平洋沖で実施。サメのヒレのみを切り取り胴体を 海に投げ捨てる、シャーク・フィニングと呼ばれる違法行為 を行うマグロ漁船を発見しました。日本では未だ、過剰漁業 は身近なのに敬遠されがちな問題です。グリーンピース・ ジャパンのオフィスでは、情報提供の場としてオーシャン・ カフェを定期的に開催しています。少人数で海洋生態系 チームと気軽に語らい、毎回大好評! 学校や地域コミュニ ティでの出前授業も行っています。豊かな海を未来に繋ぐ 方法を一緒に考えてみませんか?



オーシャン・カフェ © Greenpeace

#### ■ 主な発行物 / 報告書



記者会見 © Greenpeace

・「お魚スーパーマーケットランキング5」





·Save my Babyアクション はがき・リーフレット



動画:「このままいくと五輪の時に 「おもてなせない」ですよ ~太平洋クロマグロ絶滅の危機~| 出演:フリーアナウンサー 小倉淳さん 築地マグロ卸店 生田与克さん



#### 消費者の力で日本を世界基準に

#### 小松原和恵(海洋生態系担当)

世界有数のシーフード・マーケットを誇る日本には、今や資源問 題だけでなく、水産業に隠された人権問題への取り組みが世界か ら求められています。引き続き行政や小売業に働きかけるととも に、消費者がつくるサステナブル・シーフードの需要をサポート していきます。

# **Food for Life**

## 「生態系農業」を選びとり、 環境と私たちの健康を守っていく

ミツバチや人にも影響があるとされるネオニコチノ イド系農薬の規制を求め、遺伝子組み換えや農薬を 多用する工業型農業の問題提起をしています。解決 策である生態系農業の普及にむけ、幼稚園や有機農 家など連帯の輪を広げています。

#### 子どもたちと自然環境を守るため 政治に声を届ける

欧州連合(EU)によるネオニコチノイド系農薬規 制から2年が経過しました。生態系への影響を示す証拠が 増えていますが、日本では規制緩和が進行。子どもと環境 を守るには危険な農薬を禁止し、生態系農業への転換を望 む農家への支援強化が不可欠です。グリーンピースは「子



ども・ミツバチ保護法 を求める署名活動を4月 に開始し、7月に集まっ た1万筆を農政に影響力 をもつ国会議員に提出し ました。

#### 子どもたちに安全安心な給食を。 ハッピーランチガイド誕生

子どもは農薬の影 響を受けやすいの に、自分で食べ物を 選べません。大人が 地域ぐるみで守る必 要があります。鍵に なるのが幼稚園など 学校給食。グリーン ピースは3月、全国



有機給食を提供するエイビイシイ保育園 (東京都・新宿区) © Kayo Sawaguchi / Greenpeace



動画:「食と農業の未来像シリーズ」



ハッピーランチガイド発表記者会見の様子 © Greenpeace

の私立幼稚園に給食方針に関するアンケートを行い、 1037件から得た結果を「ハッピーランチガイド」にまと めました。アンケートの結果や幼稚園のリストに加え、無 農薬食材の提供や地域の有機農家との連携など、安全安心 な給食を提供する好事例を発信しました。

#### 工業型農業の限界と生態系農業の 実現性を明らかに

グリーンピースの国際性と専門性を活かし、グリーン ピース・エクセター研究所が作成した2つのレポートを翻 訳発表しました。『農薬と健康』レポートでは、農薬と人 の健康に関する研究をまとめ、人体への危険性を提示。

『生態系農業』レポートは、工業型農業が地球の淡水資源 の70%を使用し、世界的水不足・水質汚染の原因であるこ とを指摘しつつ、世界の事例をもとに有機農業や自然農法

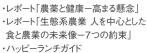
などの生態系と調和 した「生態系農業」 が実現可能であるこ とを訴えました。



農業生産法人なないろ畑の新鮮な有機野菜 (神奈川県·大和市)© Kayo Sawaguchi / Greenpeace

# ■ 主な発行物 / 報告書







## 解決策を力強く提示しつづけること

石原謙治(食と農業担当)

ネオニコチノイド系農薬の危険性を訴えつつ、「ハッピーランチガ イド」や「生態系農業」のレポートを発表して、解決策への一歩を 踏み出した一年でした。日本ではネオニコチノイド系農薬の使用は 拡大されていますが、ミツバチや子どもの安全を守るため、私たち の声を政府や企業に伝え続けていきます。



## Global

## 「パリ協定 | 合意、自然エネルギーへの 取り組みに追風

12月12日、COP21(国連気候変動枠組条約第21回締 約国会議)で採択された『パリ協定』で、世界の平均気 温上昇を1.5度に抑える目標が設定されました。しか し、各国政府が表明した削減目標をふまえると、ほぼ 3度の気温上昇が予想されます。この問題の解決策と なるのは、『パリ協定』で言及された唯一の技術、自然 エネルギーです。

会議が終わりに近づくと、パリの象徴「凱旋門」に巨 大な太陽が出現。グリーンピースは、無害な水溶性ペ ンキを使用してエコペイントを行いました。各国首脳がパ リを経つときに飛行機から見ることができ、気候変動を止



アクション:パリ「凱旋門」に太陽出現

める唯一の解決策は、化石燃料から自然エネルギーへの転 換であると訴えました。

### 北極を保護区にSave the Arctic

大手石油会社シェルが北極海の油田検査を停止!



#### 女優のエマ・トンプソンもシェル前で抗議

ロンドンのシェル本社の前では、巨大なホッキョクグマ の出車(愛称オーロラ)が現れ、さまざまな活動家が北極保 護を訴えました。9月2日、女優のエマ・トンプソンも抗議活 動に参加。エマは、シェル社の計画中止決定が発表された時 は、祝賀にも参加しました。



© Jiri Rezac / Greenpeace

#### シアトルのカヌー抗議

9月、大手石油会社シェルは、 北極海域での石油・ガスの探査 活動を中止すると発表しまし た。2012年から始まったグロー バルキャンペーン「北極を保護 区に がついに成果を出しまし た。これに先立つ5月、シェルの 石油掘削基地ポーラー・パイオ ニアがシアトル港に入港した時



© N. Scott Trimble / Greenpeace

には、活動家たちがカヌーに乗って集結。ポーラー・パイオ ニアを包囲して、アラスカ海に向けての移動を阻止する抗 議を行ないました。

#### オンラインでも広がるネットワーク

世界のグリーンピース事務所は、ソーシャルメディア などを駆使し、より迅速で広範囲に情報発信を行ってい ます。グリーンピース・インターナショナルのFacebook 「いいね!」数は245万人。グリーンピース・ジャパンの Facebookも7万5千人、Twitterでは2万3千人の登録者と なり、今後ますますオンラインでのつながりが広がって いきそうです。



COP21開催中に行わ れた、グリーンピース・イ ンターナショナル(本部) のあるアムステルダムで の気候マーチ

Chantal Bekker / Greenpeace

# People Power

### 活動に参加する

#### ボランティア・インターン活動

2015年もよりサステナブルな明日を望む、学生、 農家、社会人など多くの方々と交流を深めながら、 解決策を社会へコミュニケーションしてゆく活動に サポートをいただきました。



© Kazuya Hokari / Greenpeace

#### イベント参加・実施実績

3月7日・8日 Peace on Earth ステージ (東京・日比谷)

4月11日 世田谷区こどもいのちのネットワーク(東京・世田谷) ワンラブジャマイカフェスティバル (東京・代々木) 5月30日

8月1日・2日 はちみつフェスタ2015 (東京・銀座) 土と平和の祭典(東京・日比谷) 11月1日

虹の戦士号船上レセプション(沖縄・那覇) 11月3日 グリーンピース・オーシャンカフェ(東京・新宿) 11月30日

12月21日 国際有機農業映画祭(東京・江古田)

# 原発のない明日へ No Nuclear, Go Renewable GREENPEACE

© Kazuya Hokari / Greenpeace

#### メディア掲載活動

#### ■原発・エネルギー問題

『MBC南日本放送』『KTS鹿児島テレビ』『共同通信』『福井新聞』(2月 26日)、『毎 日新聞』(3月 8日)、『サンケイ Biz』(3月 9日)、『時事通信』(7月 21日)、 『Guardian』(7月 29日)、『日経テクノロジーオンライン』(10月 20日)、『オルタ ナS』(10月 26日)、『フジテレビみんなのニュース』(11月 18日)、『TBS』(11月 29H)

『ニューズオプエド』(2月 26日)、『みなと新聞』(2月 27日)、『静岡新聞』(5月 2 日)、『日刊水産経済新聞』(5月 27日)、『日刊速報水産タイムス』(6月 23日)、『朝 日新聞』(7月6日)、『FM FUJI JOGIN』(8月29日)、『Vice Japan』(9月25日)、 『日本経済新聞』(11月 18日)

#### ■食と農業

『東京新聞』(2月10日)、『西日本新聞』(3月15日)、『日本消費経済新聞』(4月15 日)、『毎日新聞』(6月 18日)、『週刊金曜日』(7月 3日)、『オルタナ WEB』『マガジ ン 9』(7月 7日)、『ソトコト』(8月 4日)、『しんぶん赤旗』(8月 25日)

#### ■沖縄・辺野古新基地建設問題

『琉球新報』(3月 25日)、『NHK WEB』『NHK沖縄』(10月 7日)、『AP通信』(10月 29日)、『琉球新報』『沖縄タイムス』(11月1日)、『QAB琉球朝日放送』『NHK沖縄』 『OTV沖縄テレビ放送』(11月3日)、『朝日新聞(北九州)』『共同通信』(11月5日)、 『東京新聞』(11月7日)、『週刊プレイボーイ』(11月16日)、『毎日新聞』(11月19日)

#### ■安保法制強行採決

『朝日新聞』『東京新聞』(7月 16日)、『しんぶん赤旗』(7月 29日)

#### 【インターンの声】



#### 中西彩花(2015年7月開始)

海洋生態系チームで、情報 収集やイベントのサポー トをしています。高校時代 の経験がきっかけで環境 問題解決に尽力したいと 思いました。様々な環境 NGOの中でグリーンピー スに応募したのは、なによ りその理念や熱意に共感 したからです。

#### 消費者とともに企業をサステナブルに



タマラ・スターク(プログラム部長)

グリーンピースは消費者と共に企業を変え、よりサステナブ ルな市場の実現を目指しています。国連など国際機関にも働き かけ、ノーベル平和賞に2度ノミネートされた国際団体です。

「虹の戦士号」などの船により、遠く離れた現場に赴き環境破 壊を防ぐための活動を可能にしています。全てサポーターの皆 さまのご支援のおかげです。

5年前の東電福島第一原発事故は環境及び地域社会に甚大な 影響を与え、今や日本の人々は自然エネルギーを熱望していま す。その変化は、クリーンなエネルギーのある未来へと導く「希 望」です。



## **Finance**

#### 2015年度 会計報告

グリーンピース・ジャパンの 2015年度(1月~12月)に おける財務報告書は、国際会計基準 (IFRS) に準拠して作 成され、監査法人五大により会計監査を受けたものです。 2015年度は、2014年以上に本部であるグリーンピース・ インターナショナルに加え、ドイツ、スイス、フランス、ベ ルギー等複数の海外支部からも人的・資金的な支援を得て 原発・自然エネルギー等エネルギー分野の課題に精力的に 取り組みました。また当初予定しておりました活動以外に も、緊急プロジェクトとして沖縄辺野古の基地問題への対 応等にも人的・資金的支援を本部、海外支部から受けて活 動を広げて参りました。年後半にかけて活動に賛同してく ださる方々の寄付を多く頂き、同年では消化しきれなかっ た為、より幅広くかつ持続可能な環境保護活動を行うこと を目的に、翌年の活動資金と組織の財務状況改善にまわし ております。

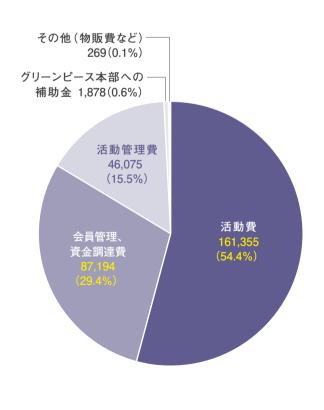
#### 貸借対照表(2015年12月31日現在)

資産	(単位:千円)
流動資産	92,888
固定資産	5,156
有形固定資産	66
投資有価証券	2,333
その他資産	2,757
資産合計	98,044
A 14	
負債	
流動負債	53,020
固定負債	4,344
負債合計	57,364
正味財産	
正味財産合計	40,680
負債及び正味財産合計	98,044

#### 収支計算書(自2015年1月1日 至2015年12月31日)

収入		(単位:千円)
寄付収入	131,365	
グリーンピース本部からの助成金	114,567	
グリーンピース他支部からの助成金	26,827	
財団からの助成金	42,449	
その他収入	320	315,528
活動費用及び活動支出 ※別表参照		
活動費	-161,355	
会員管理、資金調達費	-87,194	
活動管理費	-46,075	
グリーンピース本部への補助金	-1,878	
その他(物販費など)	-269	-296,771
活動収支		18,757
活動外収入		
受取利息	3	
保有株式評価益	819	
為替差益	38	
雑収入	24	884
活動外費用及び支出		
支払利息	-4	-4
税引前収支		19,637
事業税		-70
税引後収支		19,567

#### 2015年 活動費・管理費の内訳 単位:千円





#### グリーンピース・ジャパン 概要

【名 称】 一般社団法人 グリーンピース・ジャパン

【所在地】 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-13-11 NFビル2F

【設立年月】 1989年4月

【代表者】 代表理事/青木陽子、細川弘明

【事業対象分野】 地球環境保護 (気候変動/エネルギー/原子力問題、海洋生態系保護、農薬問題、有害物質問題、森林問題等)

【活動対象範囲】 全世界

【組織の目的】 地球規模の環境破壊を止めること

【具体的な活動手法】●環境破壊の実態を科学的に調査・分析し公表 ●マスメディア、市民メディア、会員への情報提供

- ●環境破壊を止めるための行動の呼び掛け
- ●環境問題を解決に導くための代替案の提示
- ■国際条約の交渉過程を監視、提言
- ●環境破壊の現場に行き、抗議活動
- 政府・企業などへの提案・要請

【方 針】 非暴力行動:政治的独立:財政的独立

【会 員】約6,000人(国内)、約300万人(世界全体)

【事務局】 国内有給職員 36名(うち、時間給制職員8名)

【本部所在地】 オランダ・アムステルダム(日本を含む世界55以上の国と地域に事務所。有給職員約2,400名)

【ホームページ】www.greenpeace.org/japan

[SNS] Twitter: @gpjTweet Facebook: www.facebook.com/GreenpeaceJapan

#### 世界に広がるグリーンピース



- ●グリーンピース・メキシコ
- ●グリーンピース・ブラジル ●グリーンピース・アンディーノ
- アルゼンチン / チリ
- ●グリーンピース・アメリカ
- ●グリーンピース・カナダ
- ●グリーンピース・東南アジア インドネシア /フィリピン / タイ
- ●グリーンピース・インド

- ●グリーンピース・インターナショナル(本部 オランダ・アムステルダム) リーガル(法律)ユニット(ベルギー・ブリュッセル)
- ●グリーンピース・オランダ
- ●グリーンピース・ベルギー
- ●グリーンピース・ルクセンブルグ
- ●グリーンピース・UK
- ●グリーンピース・フランス
- ●グリーンピース・ドイツ
- ●グリーンピース・スイス
- ●グリーンピース・北欧 デンマーク / ノルウェー フィンランド/スウェーデン
- ●グリーンピース・ギリシャ
- ●グリーンピース・イタリア
- ●グリーンピース・スペイン
- ●グリーンピース・チェコ
  - ●グリーンピース・ロシア

●グリーンピース・ジャパン

●グリーンピース・東アジア

北京/香港/台北/ソウル

- ●グリーンピース・中欧/東欧 オーストリア/ブルガリア/クロアチア ハンガリー/ポーランド/ルーマニア
- スロヴァキア/スロヴェニア ●グリーンピース・地中海
- イスラエル/レバノン/トルコ ●グリーンピース・アフリカ
- ●グリーンピース・オーストラリア・パシフィック オーストラリア / フィジー パプア・ニューギニア/ソロモン諸島
- ●グリーンピース・ニュージーランド

#### ■ ご支援のお願い

グリーンピースは、グリーン(緑豊か)でピース(平和)な 社会を実現するために活動する国際環境保護団体です。 環境保護を願う市民の立場で活動するため政府や企業か ら資金援助を受けず、個人の方(サポーター)からのご支 援によって活動しています。サポーターは世界に約300 万人いますが、日本ではまだ約6.000人です。

ぜひ、グリーンピースの環境保護活動をご支援ください。

#### 詳しくはWEBで

グリーンピース 寄付







© Masaya Noda / Greenpeace